

平成 2 5 年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成 2 4 年度分)

河北町教育委員会

(平成 2 5 年 9 月)

目 次

河北町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1．制度の概要及び目的	1
2．点検・評価の対象事業	1
3．点検・評価の方法	1
4．学識経験者の知見の活用	2
教育委員会の活動状況	2
1．教育委員会（協議会）の開催	2
2．教育委員会会議以外の活動	3
3．教育委員の報酬	3
施策の体系	4
外部評価委員の意見	5
点検・評価対象事業一覧	7
【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	9

河北町教育委員会事務事業の点検・評価について

1．制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2．点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成24年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

3．点検・評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

河北町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
日塔 章彦	西村山地区退職校長会（元中学校校長）
小林 吉則	河北町区長会会長
佐藤 明子	河北町婦人会会長

教育委員会の活動状況

1. 教育委員会（協議会）の開催

(1) 会議

・委員会	14回	・協議会	1回
・議案	22件	・協議	63件

開催日	区分	議案協議件名	
4月21日	委員会	議案	河北町教育委員会教育長の選任について
4月26日	委員会	議案	平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について
		協議	西村山総合開発事業要望外2件
5月24日	委員会	議案	平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について外1件
		協議	教育委員訪問外4件
6月22日	委員会	議案	平成23年度河北町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する学識経験者の委嘱について外1件
		協議	事務事業点検評価外2件
7月26日	委員会	議案	平成25年度使用教科用図書採択について外1件
		協議	かほくの教育に関するアンケートの調査外3件
8月23日	委員会	議案	河北町準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
		協議	児童手当からの給食費等の徴収外4件
10月1日	委員会	議案	河北町教育委員会委員長の選挙について外2件
		協議	平成24年度全国学力学習状況外3件

10月23	委員会	議案	平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について外1件
		協議	教育委員会制度について外5件
11月21	委員会	議案	平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について
		協議	学校別・年度別・強化別・NRT結果外5件
12月20	委員会	議案	各種委員の委嘱についての専決処分について
		協議	教職員勤務状況調査外4件
1月24日	委員会	議案	平成24年度準要保護児童生徒の追加認定について
		協議	PTA連絡協議会要望外4件
2月21日	委員会	議案	学校に対する事務委任規程の一部を改正する規程の制定について外1件
		協議	25年度当初予算要望外8件
3月11日	委員会	議案	平成25年度河北町立小中学校教職員人事異動内申について
		協議	遊蔵設置・管理に関する内規について
3月18日	協議会	協議	3月17日付け山形新聞報道記事について
3月27日	委員会	議案	平成25年度河北町教育委員会職員の異動承認について外1件
		協議	平成24年度「かほくの教育」総括について外5件

2. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
5月29日	溝延幼稚園	6月27日	西里小学校
6月12日	河北中学校	7月2日	谷地中部小学校
6月13日	溝延小学校	7月3日	谷地南部小学校
6月19日	西里幼稚園	7月13日	谷地西部小学校
6月25日	北谷地小学校		

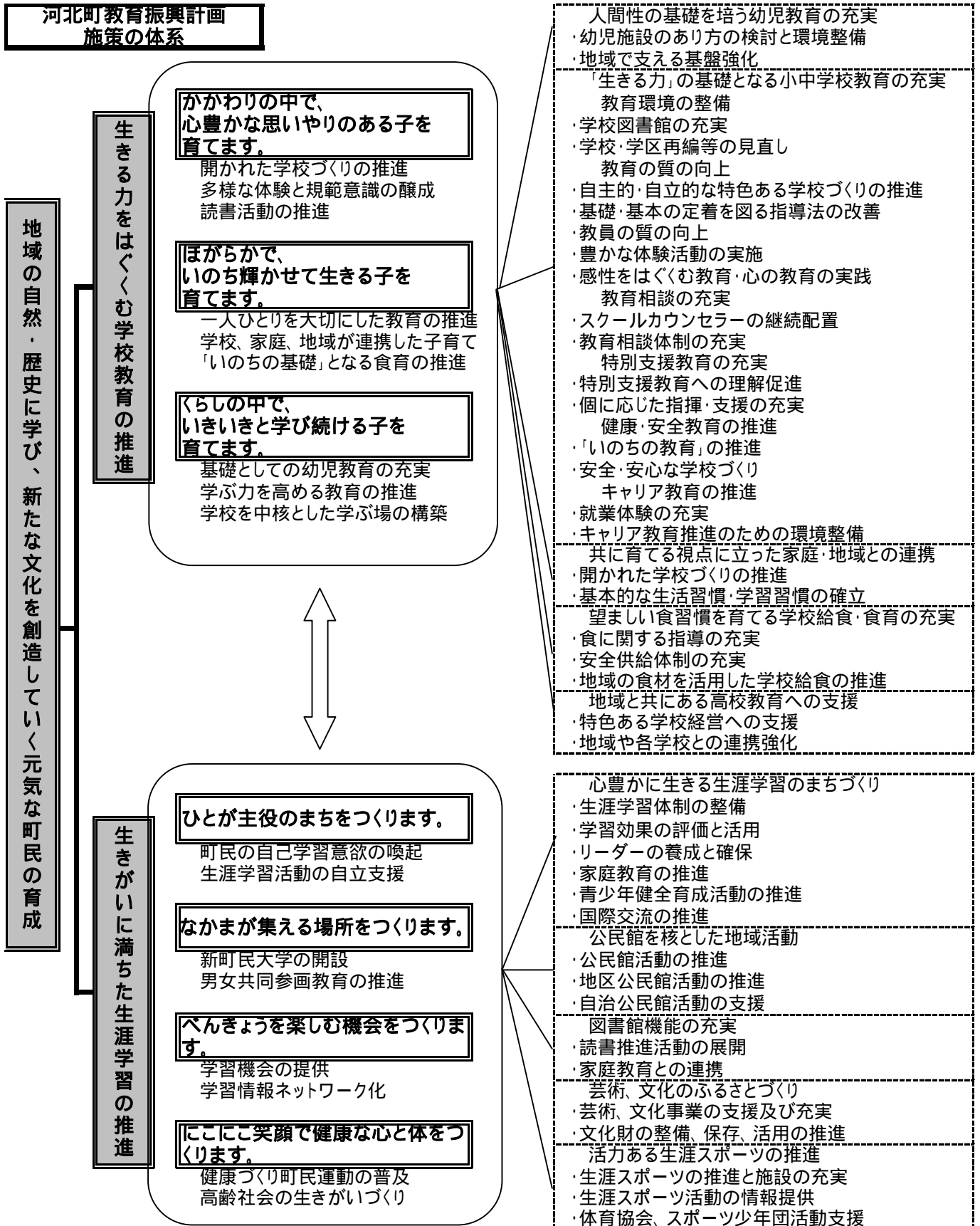
(2) その他調査・研修活動・会議等

調査・研修 11件
 会議 8件

3. 教育委員の報酬

委員長 (年) 273,000円
 委員 (年) 243,000円

施策の体系



↑ ↓

心豊かに生きる生涯学習のまちづくり

- ・生涯学習体制の整備
- ・学習効果の評価と活用
- ・リーダーの養成と確保
- ・家庭教育の推進
- ・青少年健全育成活動の推進
- ・国際交流の推進
- ・公民館を核とした地域活動
- ・公民館活動の推進
- ・地区公民館活動の推進
- ・自治公民館活動の支援
- ・図書館機能の充実
- ・読書推進活動の展開
- ・家庭教育との連携
- ・芸術、文化のふるさとづくり
- ・芸術、文化事業の支援及び充実
- ・文化財の整備、保存、活用の推進
- ・活力ある生涯スポーツの推進
- ・生涯スポーツの推進と施設の充実
- ・生涯スポーツ活動の情報提供
- ・体育協会、スポーツ少年団活動支援

外部評価委員の意見

1. 学校教育課

- (1) 人間性の基礎を培う幼児教育の充実が今強く求められています。平成28年度開園予定の認定子ども園に向けてスムーズに移行するためにも幼稚園教育にも十分に気を配り、幼・小連携にも力を入れてほしい。
- (2) 古来より「教育は人なり」と言われます。「生きる力」を育むため豊かな人間性と専門的な知識・技術などを基盤とする実践的な指導力をもった教育の継続した教育を図ること。とあるが教員としての力量を高めることが何より大切なことと思います。精神的・時間的にゆとりを持ち、自信を持って教育にあたれるよう、教育相談や特別支援教育の充実など教育委員会としても教員のサポートに努めてほしい。
- (3) 「開かれた学校づくり」や保護者・地域住民との連携をはかり信頼される学校づくりを進めることに力を入れてほしい。しかし、あまりにも外部の声に左右され、学校の自主性を失ってはならないし、筋の通らない一方的要求に対しては教育委員会としても毅然とした対応が必要なことです。いずれにしても信頼関係を築くことが教育の質を上げる基盤であります。
- (4) キャリア教育は子どもたちにとって貴重な経験となっています。今後引き続き充実した内容で実施してほしい。
- (5) いつの時代にも大人、子どもを問わずいじめは存在すると思います。より複雑化した現代社会においては、自分が子どもの時代の時よりも陰湿になってきています。大切な子どものため、より良い環境をつくる上で教育相談、特別支援教育のさらなる充実を進めてほしい。人生一度の学生生活を楽しい思い出の多いときにするため教育委員会に更なる支援教育を望みます。幼稚園児も同様であります。
- (6) 保護者の考え方については、以前とは随分変わってきているため、先生方に対し十分なサポートを望みます。
- (7) 情報提供の充実が学校と保護者の理解を深めるため、広く情報を提供するのが重要と考えます。保護者の9割が学校行事や学習公開、お便り等を通して学校の様子や学習内容などよく伝えていますが、情報の積極的な提供が一方的な宣伝にならないように、保護者、地域住民、子供たちの発言の場を保障し、お互いのコミュニケーションを深めるようにすることが大切であります。
- (8) 学校や地域住民による子供たちの見守りや安全指導は、とても大切な学校支援ボランティアであり、今後も推進すべきと考えます。しかし、活動に際しては、守秘義務、安全管理、教職員の対応などについては注意すべき点と考えます。
- (9) 教育の一番の基礎となるのは、家庭の教育だと思えます。子どもの学力や体力の基礎を作るための生活習慣を習得させ確立させるのが親の務めかと思えます。食事、健康管理、睡眠、手伝い、勉強、対人間関係の生活態度などは、私たちが小さい頃親だけでなく地域の人たちが、お互いの生活の中に係わり合い色々な事を教えてくれたように思います。今は個人主義が発達し、家庭の中で祖父や祖母でさえ口を挟めない状態のように

思います。そして親たちが余りにも忙しく、そうした習慣を身につけさせる時間的ゆとりがないのではないかと。子どもを通して親に訴え、家族、地域、学校が一体となる時かなと思います。

- (10) 資料は学力、健康診断、スポーツが取り上げられているが、芸術的なもの、絵画、書道、映画、演劇等は取り上げられていません。確かに学力は大事ですが、それが知識だけに走った場合、成人した時に人間らしく生きるための個性を生かす教育になっているのでしょうか。心が豊かに生まれ、競争社会にない潤いを与えてくれるのがそういうものかなと思います。皆で創造していくものには、思考力、判断力、表現力を育て、仲間とのディスカッションの中でコミュニケーションを深めていくのではないのかなと思います。
- (11) 体罰と厳しい指導の違いが理解されないケースが多いと思われませんが、どんな事情があったとしても生徒に暴力を振るってはいけません。なぜなら子どもの心に深い傷を残し、将来に強く影響すると思います。
- (12) 地域の人（見守り隊など）と生徒たちが自然と交わす挨拶を見ていると、挨拶を交わすことで人を結びつけ、絆となるきっかけになるのだと思います。人に助けを求め、人を信頼し、人とのつながりの中で生きていくことを親や周りの大人が身を持って教えていく義務があると思います。また、親が子どもを認めること、親友の存在、助けを求める大切さを親は教えるべきだと思います。

2. 生涯学習課

- (1) 生涯学習課の事業内容において、文化的・体育的ことと多岐にわたる事業をボランティアの方の協力も得ながら行っていること頭の下がる思いである。いろいろな社会情勢の変化もあり事業内容を精査し、それに合わせたものに変えていくことも必要であると思います。
- (2) サハトベに花管理事業の中の全天周劇場の利活用を是非検討し利活用できるようにしてほしい。また、文化事業・自主事業については、今後も質の高い公演を実施してほしい。
- (3) 学校支援地域本部事業については、地域コーディネーターが1名配置され、ボランティア募集のチラシを作成・広報していますが、ボランティア登録人数が少ない状況です。河北町は、先生を退職された方が多いと聞きます。有償ボランティアとすれば、多くの方から協力してもらえらると思います。部活動の指導など、先生方の勤務の負担を軽減できると思います。また、保護者が子供たちの教育活動に参加することで、地域活動にも積極的に関わろうとします。保護者たちが出来る事から提案し、地域住民を巻き込んで活動をしてはどうでしょうか。

点検・評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	町立幼稚園事業	学校教育課	継続	
2	教育環境の整備	学校教育課	継続	
3	教育の質の向上	学校教育課	継続	
4	教育相談の充実	学校教育課	拡充	
5	特別支援教育の充実	学校教育課	拡充	
6	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
7	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
8	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携	学校教育課	継続	
9	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実	学校教育課	継続	
10	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
11	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
12	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
13	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
14	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
15	公民館事業	生涯学習課	継続	
16	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
17	図書館事業	生涯学習課	継続	
18	文化財総務事業	生涯学習課	継続	
19	文化財保護事業	生涯学習課	継続	
20	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
21	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
22	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	

23	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
24	交流館遊蔵事業	生涯学習課	継続	
25	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
26	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	
27	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
28	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	
29	体育施設事業	生涯学習課	継続	
30	町民プール事業	生涯学習課	継続	
31	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	1 町立幼稚園事業
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	2 人間性の基礎を培う幼児教育の充実 ・ 幼児教育施設のあり方の検討と環境整備 ・ 地域で支える基盤強化 など
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	幼稚園費
	目	1	幼稚園費外

2、事業の概要

事業目的	人間性の基礎を培う幼児教育
事業内容	(1) 施設及び環境整備 (2) 子育て支援の充実 (3) 幼・保及び小学校との連携 (4) 地域で支える基盤等の強化 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	72,512	補正額等	3,290	合計	75,802	決算額	74,533
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

区分	西里	溝延	
3歳児	16	10	(1) 西里幼稚園に特別支援のために臨時教諭 2 名配置した。幼稚園就園奨励補助(112 人)、私立幼稚園子育て支援(9 人)を行った。 (2) 各小学校へ幼児の授業参観、5 年生の幼児への学校紹介、小学校行事への幼児の参加など両園とも行った。 (3) 幼稚園保護者会との共催などで、夏祭り、運動会、餅つき、子育て研修会など。
4歳児	16	10	
5歳児	11	13	
計	43	33	
園長	1	1	
総括主任	1	1	
主任教諭	1	1	
嘱託教諭	2	2	
臨時職員	2	0	
給食配膳員	1	1	
業務員	1	1	
計	9	7	

5、事業の評価

(1) 各園とも老朽化が進んでいるが、適宜計画的修繕が必要。
(2) 関係機関と連携し、また、保護者の理解も得ながら、適正就学に取り組む。また、継続して幼稚園就園奨励補助、私立幼稚園子育て支援を行う。
(3) 継続した、幼・小連携事業を行っている。
(4) 地域との繋がりを大切にして、連携した幼児教育を行う。

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後とも、人間性の基礎を培う幼児教育の充実に継続して取り組む。また、幼児教育の振興等のため幼稚園就園奨励補助、私立幼稚園子育て支援を引き続き行う。さらに平成 28 年予定開園の認定子ども園に向けた町立幼稚園施設のあり方、及び関連する修繕について検討する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	2 教育環境の整備
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興〕 計 画	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・学校図書館の充実 ・学校・学区編成等の見直し など
-----------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

2、事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 環境整備の計画的実施 (2) 教育備品等の充実 (3) 学校図書館の充実 (4) 学校・学区編成等見直し など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	101,457	補正額等	11,608	合計	113,065	決算額	108,643
-------	---------	------	--------	----	---------	-----	---------

4、事業の実施状況

(1) 溝延小学校大規模改造工事、西里小学校放送設備更新工事、谷地中部小学校及び北谷地小学校屋根修繕工事など
(2) 汎用ソフトを組み入れた、学習用パソコンの導入とインターネットセキュリティーの強化など
(3) 学習指導要領改定等に伴う学校図書の整備、拡充、嘱託図書司書(2人)の継続配置など
(4) 通学区の見直しに係る地域の状況把握など

5、事業の評価

(1) 各施設とも耐震化は達成したが、非構造物の耐震化の取組を行うと共に、継続して老朽化等に対応する計画的修繕を行う必要がある。
(2) 学習用パソコンの内容充実と併せ、校務用パソコンの導入を図った。
(3) 継続した図書の整備と、図書司書の配置とともに、学校図書館の電算化を図った。
(4) 学校建替え後導入された、県のさんさんプランにより、中部小学校の普通教室が不足している。また、西部小学校では今後複式学級が続く予定であるが、各学校ごとに状況をよく把握し対応する必要がある。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後とも、環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組むべきである。適正・適切な教育活動を保障するため、地域の実態や状況の変化に対応するよう教育環境の整備を行う。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	3 教育の質の向上
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計 画	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・ 特色ある学校づくりの推進 ・ 基礎・基本の定着を図る指導方法の改善 など
---------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

2、事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 自主的・自立的な特色ある学校づくりの推進 (2) 教員研修の充実 (3) 感性をはぐくむ教育・心の教育の実践 (4) 現代の課題に対応した教育の実践 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	50,406	補正額等	633	合計	51,039	決算額	50,006
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

<p>(1) 「特色ある学校づくり」3年1サイクルの3サイクルの2年目、各校とも事業テーマを設定し、地域の歴史・自然のかかわりを大切にして実施。</p> <p>(2) 教育研究所(6 研究部会、3 専門部会)において、課題設定等主体的な研修の実施や、理科教育センターによる理科教育の質の充実等の研修の実施。</p> <p>(3) 音楽会や芸術鑑賞を毎年実施。町の歴史文化等に触れるため、遊蔵の郷土資料館等の活用実施。</p> <p>(4) A L T事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、外国語活動サポートの人的配置を実施。</p>

5、事業の評価

<p>(1) 「特色ある学校づくり」を推進して、子ども達に付けたい力、ねらいを明確にして、子ども達の変容を踏まえ次の活動につなげることが大切。</p> <p>(2) 限られた時間の中で、主体的な研修を実施している。新たな教育課題に対応する体制の向上を図る。</p> <p>(3) 継続して音楽会や芸術鑑賞を実施すると共に、町の施設や人材を活用する。</p> <p>(4) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、英語に係る小中学校の更なる連携を検討する。</p>
--

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	<p>確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」育むため、豊かな人間性と専門的な知識・技術などを基盤とする実践的指導力をもった教員の継続した育成を図る。今日の教育課題に対応するため、「特色ある学校づくり」を継続実施すると共に、教育研究所の機能強化とあり方について検討する。</p>				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	4 教育相談の充実
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実
教育振興 計 画	・ スクールカウンセラーの継続配置
	・ 教育相談体制の充実 など

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費

2、事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導 (4) カウンセリング研修の充実 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,905	補正額等	0	合計	2,905	決算額	2,885
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 小学校(町費 2人)、中学校(県費 2人)にスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置した。
(2) 小中学校に教育相談員(町費 2人)を配置した。
(3) 適応指導教室(ゆうゆう・指導員 1人)を設置した。
(4) 教育研究所全員研修で「酒造りを通して学んだこと」を出羽桜酒造株式会社社長から聴講した。

5、事業の評価

(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒、保護者への対応や教職員の研修に効果を挙げている。
(2) 教育相談員は、別室、適応教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施なども行った。
(3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や、普通学級復帰へ繋げた。
(4) 町教育研究所等で必要に応じ、適期の開催に努める。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	ストレスが増えた現代社会における、教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取組が必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	5 特別支援教育の充実
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 (教育振興 計 画)	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・特別支援教育への理解促進 ・個に応じた指導・支援の充実 など
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

2、事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育への理解促進 (2) 町の支援体制と校内支援体制の充実 (3) 長期的視野に立った支援体制の整備 (4) 個に応じた指導・支援の充実 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	10,920	補正額等	208	合計	11,128	決算額	11,024
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1)	町教育研究所において、全教職員対象の特別支援教育講座(3回)を開催する等、特別支援教育の理解促進に努めた。
(2)	新たに、発達障害等児童指導支援事業(緊・3人)を実施し、支援体制の充実を図った。
(3)	幼稚園、保育所と連携をとりながら、幼児期からの個に応じた支援計画等の作成を促し、小学校以降の教育にも生かせるようその強化を図った。
(4)	学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学習生活指導補助員(小学7人、中学1人)の継続配置と研修を行った。

5、事業の評価

(1)	具体的ケースを基にした研修や、別角度の視点での講座の設置等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取組を行う。
(2)	校内支援体制を更に整備する。
(3)	各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園、保育所と連携を進める。
(4)	実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継 続	縮 小	見 直 し	休 廃 止
今後の対応	障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取組を行う。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	6 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 (教育振興 計画)	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・「いのちの教育」の推進 ・安全・安心な学校づくり など
----------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

2、事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) 生涯にわたる基礎としての体育等の充実 (4) 安全・安心な学校づくり など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,013	補正額等	0	合計	5,013	決算額	5,011
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 自他のいのちを大切に、また震災後、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。
(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、校医の先生等からの指導等を得て改善に取り組んだ。
(3) 毎年運動能力調査を行い、課題を明らかにして、その改善を小・中体育連盟等組織的に行った。
(4) 通学路や地域の危険箇所を確認する、安全マップの更新を全校で取り組んだ。

5、事業の評価

(1) 引き続き、自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を進める。
(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進する。
(3) からだの硬さ等は改善傾向にあるが、瞬発力の改善等新たな課題に引き続き取り組む。
(4) 施設の安全面の整備は本より、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者、地域の方と共に進める。施設は耐震化が全校で図られたが、非構造物の耐震化も検討する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	7 キャリア教育の推進
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興〕 計 画	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・就業体験の充実 ・キャリア教育推進のための環境整備 など
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	3	中学校費
	目	2	教育振興費

2、事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 小学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実 (3) キャリア教育のための環境整備

3、予算額・決算額

再掲（単位：千円）

当初予算額	1,000	補正額等	0	合計	1,000	決算額	956
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-----

4、事業の実施状況

(1) 特色ある学校づくり事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞く等、小学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。
(2) 中学第2学年で3日間、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、第3学年では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方等を学んだ。
(3) 就労体験や職場訪問を受け入れられる事業所の掘り出しに努力した。

5、事業の評価

(1) 家庭における家事の分担等、発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。
(2) 中学では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。
(3) 関係団体の会議での事業のPRや、広報で呼びかけた。東京方面での受入事業所が減少している。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	早期離職者の増加など、社会へスムーズに移行できない若者の増加は、今日大きな社会問題となっている。主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	8 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
-----	------------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	4 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携 ・開かれた学校づくり ・基本的な生活習慣・学習習慣の確立 など
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費外

2、事業の概要

事業目的	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
事業内容	(1) 開かれた学校づくりの推進 (2) 地域の教育力の活用 (3) 基本的な生活習慣・学習習慣の確立 (4) 安全を守るための連携

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	680	補正額等	0	合計	680	決算額	680
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

- (1) 各学校に学校評議員を委嘱し、保護者・地域住民の意見を学校運営等に反映させた。
- (2) 体験学習での畑の先生や、学校支援地域本部事業など、地域の方々の協力を得ると共に、地域の行事への参加などを推進した。
- (3) あいさつ運動や、家庭の日の推進、家庭学習(小学全校家庭学習の手引きを発行)の定着など、学校・家庭・地域が連携して進めた。
- (4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員(1人)と通学路安全巡視員(緊・1人)の配置を行った。

5、事業の評価

- (1) 引き続き学校評議員を委嘱し、学校の課題を共有する等開かれた学校づくりを推進する。
- (2) 学校支援地域本部事業の周知を継続し、地域の方々の協力を得る等取組を進める。
- (3) 一部取組成果が弱いところがあるが、家庭学習の定着など、学校・家庭・地域が連携して進める。
- (4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員、通学路安全巡視員の配置や、安全施設の整備を進める。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後も、子どもの社会的認識を培い生きる力や心の教育など多面的な発達を促進していくために「開かれた学校づくり」や、保護者・地域住民の学校経営への理解と参画を得て、信頼される学校づくりを進める必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	9 望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
-----	-------------------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

施策体系 〔教育振興〕 計 画	5 望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実 ・食に関する指導の充実 ・地域の食材を活用した学校給食の推進 等
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	4	給食センター費外

2、事業の概要

事業目的	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 学校・家庭・地域の連携 (3) 安全供給体制の充実と施設設備等の更新・補修 (4) 地域の食材を活用した学校給食の推進

3、予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	156,129	補正額等	1,964	合計	158,093	決算額	156,743
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4、事業の実施状況

<p>(1) 各校で食育計画を策定し推進すると共に、栄養教諭等の食に関する指導を実施した。</p> <p>(2) 学校給食だよりを発行し、給食のメニューの掲載だけでなく、地元食の紹介や、食材のこと等保護者の方へお知らせした。</p> <p>(3) 食材の放射線量の測定や、洗浄室等の床防水塗装改修工事、配送コンテナの更新を行った。</p> <p>(4) 郷土料理や伝統料理を献立メニューに取り入れ、地域の食材を可能な限り取り入れた。</p>
--

5、事業の評価

<p>(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭等の指導を実施する。</p> <p>(2) 箸の持ち方や毎朝朝食をとること等、学校・家庭等が連携して推進する必要がある。</p> <p>(3) 食の安全確保のため食材の放射線量の測定や、計画的施設等の更新を実施する必要がある。</p> <p>(4) 季節や地域の伝統料理を継続してメニューに取り入れながら、地場産品の利用促進のため生産者・流通団体と課題解決の取組を進める。</p>
--

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	児童生徒自身の食生活は学校給食だけでなく、家庭での食事が中心となるなどのため、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努めると共に、施設の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	10 地域と共にある高校教育への支援
-----	--------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	6 地域と共にある高校教育への支援
教育振興 計 画	・ 特色ある学校経営への支援
	・ 地域や各学校との連携強化 等

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目		(振興会会計)

2、事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 特色ある学校経営への支援 (4) 地域と学校との連携強化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,462	補正額等	230	合計	2,232	決算額	1,930
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 奨学金の対象となる成績に幅を持たせる改正を行うことで、該当者が3人あった。 (2) 土日・休日に学校行事が開催される場合の休日バス運行支援(6日)を行った。 (3) 町内や近隣の中学校(3年生)に、谷地高等学校の特色や魅力を載せたリーフレットを作成し配布した。 (4) 「谷地高通信」を増し刷り回覧し、町の方から谷地高の現状等をお知らせすると共に、どんがまつりへの生徒の参加支援等を行った。
--

5、事業の評価

(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。 (2) 谷地高志願の際ネックとなる公共交通機関の弱さを補完する意味でも、引き続き休日バス運行支援等を行う。 (3) 引き続き谷地高の特色ある学校づくり支援と、特色と魅力を周知するリーフレットの作成・配布を行う。 (4) 幼保・小・中学校との交流を図り、地域行事への参加や、ボランティア活動への支援を引き続き行う。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	谷地高等学校教育振興会の当初の目的である谷地高校存続について、キャンパス制の導入により一応の決着がついたということで、25年度をもって発展的解散することで決定した。今後も谷地高の魅力ある学校づくりのため支援していくことを検討する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	11 農村環境改善施設事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	3 公民館を核とした地域活動 ・ 地区公民館活動の推進
---------------------	--------------------------------

予算科目	款	6	農林水産業費
	項	1	農業費
	目	6	農村環境改善施設費

2、事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費。各センターを計画的に修繕し、地区民に積極的に利用してもらえるようにする。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	26,215	補正額等	36,479	合計	62,694	決算額	57,312
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1)各センターの運営協議会開催	年 2 回
(2)利用者数と利用料金	
農村環境改善センター	10,956人 135,406円
溝延研修センター	15,656人 292,779円
北谷地構造改善センター	11,217人 214,099円
(3)河北町農村環境改善センター(西里地区公民館)	
多目的ホール耐震補強工事、クロス張替工事、消防設備修繕、誘導灯設備、非常照明修繕、調理室水栓修繕、男子更衣室配水管修繕等を行った。また、スリッパ150足を購入した。	
(4)河北町溝延研修センター(溝延地区公民館)	
事務室クロス張替工事、換気扇修繕、バスケットリング修繕等を行った。また、座布団100枚、事務室カーテン1式、瞬間湯沸し器1台を購入した。	
(5)河北町北谷地構造改善センター(北谷地地区公民館)	
棟木修繕、トイレ床排水修繕、遊具修繕、油配管等修繕、高窓修繕、漏電火災警報器修繕、屋外トイレ修繕等を行った。	
(6)太陽光パネル及び蓄電池設置	
3センターで、太陽光パネル及び蓄電池設置工事を実施した。	

5、事業の評価

地域の活性化に各団体が取り組み、地域連帯感の醸成を図ることができた。また、地域住民の健康の増進、生活文化の振興等に寄与するため施設の適切な管理運営に努めた。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理をしながら、計画的に修繕し、地区民に積極的に活用してもらえるようにする。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	12 社会教育総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 〔教育振興計画〕	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・生涯学習推進体制の整備 ・リーダーの養成と確保 ・家庭教育の推進 ・青少年健全育成活動の推進	予算科目	款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 1 社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関り地域の教育力を向上
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、元泉地域づくり推進事業、視聴覚教育、学校支援本部事業、家庭教育事業、家庭の日事業

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,341	補正額等	133	合計	4,208	決算額	4,029
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1)社会教育委員 - 委員会を年2回開催し、委員より生涯学習事業全般について意見を求めた。</p> <p>(2)社会教育推進員 - 生涯学習事業全般について、協力していただいた。青少年育成推進員との合同で会議を年2回、研修会を年1回開催した。</p> <p>(3)青少年育成推進員 - 各種少年週末事業の運営、青少年健全育成のための夜間巡回活動などの生涯学習事業に協力した。</p> <p>(4)少年教育・青年教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第24回爽やかサイクリング 平成24年9月22日(土) 21名参加 ・第10回ドッジボール大会 平成24年12月9日(日) 5チーム参加 ・子どものつどい 平成25年3月9日(土) 21名参加 ・みどりの少年団(団員数35人、谷地西部小学校3年生～6年生) ・家庭の日イベント 川遊び・ねじりん棒パンづくり 平成24年10月21日(日) おやこ元気アップセミナー 平成25年1月20日(日) ・べに花の種プレゼント 平成24年4月8日(日) ・第32回最上紅花切花展 平成24年7月15日(日) <p>(5)視聴覚教育 視聴覚教材巡回貸出事業(ビデオテープ・DVDの貸出)や巡回教材貸出事業(ビデオテープ・DVDの貸出)「映写ボランティア」の派遣事業等の事業を行った。</p> <p>(6)学校支援地域本部事業 各学校より要望調査を実施した後、チラシによりボランティアを募集し、学校が望むボランティアの確保と調整を行い、学校を支援した。</p> <p>(7)家庭教育 町内6校の小学校で、家庭教育推進事業を実施した。</p>	
--	--

5、事業の評価

<p>イベントをする際には、他のイベントと日程が重ならないよう連携しながら事業の周知に努め、参加者の確保を図ることが必要。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	特に子ども会育成会連絡協議会主催事業に関しては参加者数が減少傾向にあることから、地区役員の協力を得ながら参加者数の増加を図っていく必要がある。また他事業についても、より多くの皆さんが参加できるよう、開催日や内容を考慮していく。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	13 放課後子ども教室推進事業
-----	-----------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・ 青少年健全育成活動の推進
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	(1)子どもの安全な遊び場の確保 (2)体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から10月までの毎週水曜日に子どもの遊び場の確保を目的に実施している。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	552	補正額等	83	合計	635	決算額	457
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

(1)子どもの居場所づくり事業 平成16年度から国の補助事業「放課後子どもプラン」が実施され、運営委員会委員となった各地区の青少年育成町民会議役員や各学校の協力を得て、水曜日の放課後に6種類(ビーズアクセサリ、おりがみ、俳句、イカ凧づくり、英語、レクリエーションスポーツ)の講座を含め事業を実施。町内各学区毎6会場で実施し、1日平均約78人が参加した。なお、教室別の平均人数は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 西里放課後子ども教室 16人 ・ 溝延放課後子ども教室 15人 ・ 谷地中部放課後子ども教室 11人 ・ 谷地南部放課後子ども教室 23人 ・ 谷地西部放課後子ども教室 10人 ・ 北谷地放課後子ども教室 9人
--

5、事業の評価

地域の方々が、コーディネーター及び見守り役になっていただいているので、地域の方との交流も見られ、子どもたちをサポートしていただいている。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	安全・安心な子どもの活動拠点を提供し、魅力のある講座を開催することで、より多くの児童の皆さんが参加できるよう、学校の協力を得ながら開催日や講座内容を検討していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	14 成人式・はたちのつどい事業
-----	------------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・ 青少年健全育成活動の推進
---------------------	---------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	795	補正額等	0	合計	795	決算額	788
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

(1)成人式・はたちのつどい 平成25年1月13日(日) サハトベに花で式典を、町民体育館でつどいを開催した。今年は平成19年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、204人中173人が式典に参加した。 はたちのつどいは実行委員が企画し、新成人に装飾を施した楽しい集いの場を提供した。
(2)成人式・はたちのつどい写真展 平成25年2月9日(土)・10日(日) サハトベに花交流室で開催した。

5、事業の評価

青年教育の中心となっている河北町青年団の団員数減少や勤務形態の多様化により活動できる人数が減っている中、充実した内容のはたちのつどいを開催できた。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後とも、より多くの新成人の皆さんが参加できるよう、はたちのつどいの内容を実行委員会で検討していく。また、河北町青年団を中心としたはたちのつどい実行委員会の運営は団員減少もあり、今後別のかたちでの運営も考えなければならない。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	15 公民館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	3 公民館を核とした地域活動
	・ 公民館活動の推進
	・ 自治公民館活動の支援

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	2	公民館費

2、事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館運営、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,212	補正額等	942	合計	3,270	決算額	3,237
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)青少年講座 少年講座について、地域の方を講師に招き、2つの講座を開催した。 ・ べに花かほく体験隊 平成24年6月16日(日) 町民プールを会場に開催、町内小学生62人が参加し、壁面に壁画を作成した。講師として河北美術クラブの方々にご指導いただき、青少年育成推進員に子どもたちのサポート役として参加していただいた。 ・ べに花かほく体験隊 平成25年1月26日(土) コミュニティセンターを会場に生チョコづくりの講座を開催した。
(2)子どもいけばな教室 7月～2月の第4土曜日に女性・青少年センターにおいて、龍生派(華道)の指導者によるいけばな教室が開催された。全部で8回行われ、参加した町内小学生の作品が、10月の町文化祭に展示し好評だった。
(3)町民大学「かほく町民大学ひなカレッジ」 実行委員会主催による、1つの大講座と6つの小講座及び閉講式を実施した。実行委員は15人で、計15回の会議を行った。 ・ 大講座 金澤翔子席上揮毫・金澤泰子講演 平成24年7月28日(土)520人 ・ 小講座の受講生数 地域学22人、紅花学12人、シネマ学22人、こころ学26人、磨き学(女性)35人、磨き学(男性)9人 ・ 閉講式 春の音連れ ひなカレッジ交流会とアイルランド伝統音楽 平成25年3月3日(日) 90人
(4)生涯学習講師派遣事業 現在57の団体・サークルが派遣事業対象団体として登録されている。学習事業の一部補助として1件5,000円の補助を行った。平成24年度は10の団体に支援を行った。

5、事業の評価

イベントを開催する際は他のイベントとの調整のうえ、関係する団体と協力イベントの周知に努め、参加者の確保を図ることが必要。ひなカレッジについては、経験豊かで様々な場で活躍している実行委員で構成しており広報や入場券販売でも活発な活動をしたが、実行委員の人数が少なく、実行委員の確保が課題である。小講座では谷地地区以外の参加が少なかった。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	講座の内容及び開催場所によっては、参加者に大きなばらつきがある。今後とも、より多くの皆さんが参加できるよう、開催日や講座内容を考慮していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	16 地区公民館事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	3 公民館を核とした地域活動 ・ 地区公民館活動の推進
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	2	公民館費

2、事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営支援

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,451	補正額等	0	合計	1,451	決算額	1,410
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)文化教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室（西里地区） 8学級 113名在籍 ・大昭大学（溝延地区） 106名在籍 ・文芸学級（北谷地地区）9学級 136名在籍 ・婦人会各学級（溝延地区）6学級 111名在籍 ・あじさい学級（溝延地区） 22名在籍
(2)学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え・稲刈り・収穫感謝祭・しめ飾り作り（西里地区） 西里小学校6年生対象 ・小正月行事（溝延地区） 溝延小学校1年生対象 ・ミニ門松づくり及び小正月行事（北谷地地区） 北谷地小学校5年生及び1・2年生対象
(3)その他の講座等（全地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり事業 年12回 ・地区公開講座 年1回 ・地区文化祭 年1回 ・新春を祝う会 年1回 ・やすらぎのまちづくり事業における交流会 年1回 ・青少年育成町民会議事業における思いやりフォーラム 年1回 ・輪投げ大会・ペタンク大会・ゲートボール大会等 各年1回

5、事業の評価

<p>各地区公民館において、地域の特性に応じた講座・文化学級・文化祭・スポーツ大会などを開催し、地区の各種団体と共催による事業の展開を行った。地区公民館毎に担当職員を決め、地区公民館と連携を取りながら業務を遂行した。</p> <p>今後ともより多くの人に参加できるように参加者の意見も参考にし、内容の充実に向けて創意工夫に努める必要がある。</p>
--

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	<p>各年齢層を対象にした事業においては、女性や高齢者は参加も多く成果をあげているが、内容の充実強化を図り、広がりのある参加しやすいものにしていく必要がある。特に、青壮年層が参加する事業の実施がこれからの課題である。</p>				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	17 図書館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	4 図書館機構の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進活動の展開 ・家庭教育との連携

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	3	図書館費

2、事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	(1)指定管理者制度の導入による管理運営を行う (2)備品（蔵書）購入を計画的実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	25,475	補正額等	0	合計	25,475	決算額	25,474
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1)NPO 法人ひまわりネットワークに管理を委託し、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。
(2)図書館後援会は寄贈運動を推進し、大活字本、DVD等を寄贈した。

5、事業の評価

(1)より多くの多様な蔵書を配置できるようになり、図書館機能が向上した。
(2)指定管理者制度を導入し、開館時間の延長や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を行っている。

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	蔵書の数と内容の向上に努める。本の選定に関しては、これまでと同様町民が関心を寄せる良書を選んでいく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	18 文化財総務事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・文化財の整備、保存、活用の推進
--------------------	-------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	4	文化財費

2、事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	(1)河北町文化財保護審議会 (2)河北町の歴史講座の開催

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,315	補正額等	0	合計	1,315	決算額	1,309
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)文化財保護審議会 会議：3回 研修：天童市 ・毎月の広報かほく15日号に、町内の名所・旧跡の解説を掲載した。
(2)河北町の歴史講座(全3回) ・第1回：写真でみる安部権内家 ・第2回：安部権内家の魅力を探る ・第3回：映像でみる林家舞楽 所作の意味と由来

5、事業の評価

(1)文化財保護審議会の意見を尊重し文化財保護に努めた。
(2)河北町の歴史講座は、毎年参加の人も多く、映像を見せることで分かりやすくし好評である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	町指定文化財候補について調査を継続し、文化財保護を推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	19 文化財保護事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・文化財の整備、保存、活用の推進
---------------------	-------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	4	文化財費

2、事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	(1)史跡説明板設置 (2)無形文化財の保護

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	242	補正額等	1,994	合計	2,236	決算額	2,220
-------	-----	------	-------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)無形文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> 映像収録編集...門松づくり 既存撮影映像編集...のこぎり研ぎ、包丁ができるまで、溝延の小正月行事 民俗芸能伝承活動の助成...谷地大黒舞
(2)文化財資料倉庫(町民体育館脇プレハブ)の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 破損・腐朽品や同形式の農具・民具について処分
(3)史跡説明板の設置 <ul style="list-style-type: none"> 紅花資料館齋藤茂吉文化賞受賞看板(紅花資料館内)
(4)河北町紅花資料館第58回齋藤茂吉文化賞受賞 <ul style="list-style-type: none"> 祝う会 平成25年1月14日(月) 県知事、県芸術文化会議会長、堀米家縁者ほか出席

5、事業の評価

(1)無形文化財の収録映像は、交流館遊蔵、サハトベに花設置のタッチパネルのパソコンで公開している。
(2)文化財資料倉庫(町民体育館脇プレハブ)保管資料の確認と適宜処分を実施することで、保管スペースの確保を図った。
(3)齋藤茂吉文化賞受賞を記念する説明板を設置し、顕彰を図った。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	映像公開、看板の設置などを通じて、文化財愛護精神の啓発と保護に努める。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	20 サハトベに花管理事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり
	・芸術、文化事業の支援及び充実

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者により施設の管理運営を適切に実施し、維持修繕については計画的に実施する。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	69,965	補正額等	765	合計	70,730	決算額	70,566
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1)河北町総合交流センター サハトベに花 自家発電用蓄電池更新、トップライトドーム交換、自動力率調整器更新の工事と VCS 精密点検業務委託を行った。利用件数 1,655 件、年間利用人数 74,003 人。
--

5、事業の評価

築 18 年経過しているため修繕箇所が多くなっている。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	(1)修繕必要度に即して、修繕・工事を計画的に実施していく。 (2)指定管理者制度に基づき施設の管理運営をしていく。 (3)全天周劇場の利活用について検討をしていく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	21 サハトベに花文化事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の支援及び充実
--------------------	------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	(1)狂言の夕べ (2)宝くじ文化公演わらび座ミュージカル「おもひでぼろぼろ」

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,381	補正額等	35	合計	4,346	決算額	4,289
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)狂言の夕べ 平成24年8月8日(水)開催 790人
(2)宝くじ文化公演わらび座ミュージカル「おもひでぼろぼろ」平成25年1月19日(土)開催 619人

5、事業の評価

事業は、集客も必要であるが文化的内容を考慮して実施した。開催日については、町内各文化団体の発表の機会を妨げないよう配慮する必要がある。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	自主事業については、出演料を主な判断材料にするのではなく、町民が要求しているものを探り公演を実施していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	22 芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の支援及び充実	予算科目	款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 5 サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,216	補正額等	213	合計	2,003	決算額	1,987
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1)サハトベに花展示事業</p> <p>町内の各芸術文化団体の協力を得ながら、下記展示事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業：河北美術クラブ会員展（本間奎児絵画展）平成24年5月12日～6月6日 ・自主事業：佐藤昭治写真展出羽讃歌 平成24年6月23日～7月29日 ～自然に癒しと元気を求めて～ ・共催事業：河北美術クラブ展（展示室廊下）平成24年7月14日～7月18日 ・自主事業：今田幸銅版画展 平成24年8月4日～9月2日 ・後援事業：いい時間作りませんか会（いい時間作りませんか展）平成24年9月7日～9月19日 ・自主事業：後藤瞳絵画展 - the spot - 平成24年10月13日～10月28日 ・総合文化祭：総合作品展 平成24年11月3日～11月5日 ・総合文化祭：河北郷土史研究会展示 平成24年11月7日～11月30日 ・自主事業：河北美術クラブ会員展 平成24年12月8日～平成25年1月15日 （木村二郎絵画展～学校など地域を描く～） ・自主事業：あったかキルト展 平成25年2月2日～3月10日 ・共催事業：河北町書道連盟会員展 平成25年3月13日～3月22日 <p>(2)文化祭の開催 10月7日（日）から11月30日（金）の間に河北町芸術文化協会に加盟する17団体の発表会が行われた。また、11月3日（土）に記念式典及び舞台発表会、11月3日（土）から11月5日（月）まで総合作品展を行った。2月26日（火）には、文化祭の反省会を及び研修会を実施した。</p> <p>(3)各種芸術文化団体への補助 河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、河北町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会を支援した。</p>

5、事業の評価

<p>総合文化祭は各団体の協力で盛大に行われたが、文化祭への出席者が減少傾向になっている。また、特別出演の河北中学校の生徒の合唱は、出席者、生徒から好評を得た。</p>
--

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	総合文化祭の鑑賞者が減少しているので、それぞれがピーアールを行う必要がある。また、舞台発表会では河北中学校生徒から引き続き出演していただきたい。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	23 女性・青少年センター事業
-----	-----------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・リーダーの養成と確保 ・青少年健全育成活動の推進
---------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	6	女性・青少年センター費

2、事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

3、予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	1,402	補正額等	153	合計	1,555	決算額	1,351
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)河北町女性・青少年センター	青年団、ピアロの活動拠点として施設を開放している。ラーニングルームプラスチックタイル(床)修繕を行った。年間利用件数191件、年間利用人数2,692人。
------------------	--

5、事業の評価

書道教室の利用が定期的であり、延べ利用人数が増加している。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	修繕が必要な場合は、適切に修繕していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	24 交流館遊戯事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の充実
	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	7	交流館遊戯費

2、事業の概要

事業目的	(1)まちなか交流人口の拡大 (2)青少年層への伝統文化の紹介 (3)生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	(1)施設の維持管理 (2)郷土資料館の展示、体験学習の実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,884	補正額等	448	合計	5,332	決算額	5,151
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)利用人数	・屋内運動場 7,109人(844件) ・郷土資料館 942人
(2)施設管理	・河北町シルバー人材センター委託
(3)施設修繕	・防球ネット修繕
(4)常設展示	・祭り暮らし展示室...囲炉裏端と民具・農具の展示に加え、紅花資料館から囃子屋台を移設 ・匠の道具展示室...河北職業訓練協会より資料借用 ・来館者、小学生向け展示説明...河北町郷土資料館協力員 ・タッチパネルのパソコンの設置・更新
(5)工作教室、匠の道具体験会(協力：河北職業訓練協会)	
(6)屋内運動場大会	・河北ミニサッカー大会 in 遊戯

5、事業の評価

(1)郷土資料館に伝統芸能や匠の道具の映像を紹介するタッチパネルのパソコンを設置し、内容を更新している。
(2)囃子屋台を移設し、どんが祭りとの関連が図れる。
(3)各小学校の社会科学習の見学先として郷土資料館が活用されている。
(4)屋内運動場は、ゲートボール、フットサル、輪投げ、テニス、野球等で昼夜使用され盛況である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	郷土資料館の展示替えやタッチパネルのパソコンの内容更新に努める。 屋内運動場の予約方法の見直しを図り、円滑な運営に努める。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	25 保健体育総務事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進	予算科目	10 教育費
	・生涯スポーツの推進		6 保健体育費
	・生涯スポーツ活動の情報提供		1 保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民一スポーツの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,558	補正額等	10	合計	1,548	決算額	1,477
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) スポーツ推進審議会を年3回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。</p> <p>(2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催による、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町体育協会表彰式にて表彰した。</p> <p>(3) 山形県スポーツ振興21世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。</p> <p>(4) 河北スポーツクラブは、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整え、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブである。その趣旨に基づき、平成24年度は、創設後の4年目であり、会員募集チラシを全戸配布し、新規の教室も加え会員の増加と円滑かつ継続的な事業の展開に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング教室 4月～10月 25回 12人 ・ピラティス教室 通年 40回 28人 ・ストレッチ・ヨガ教室 通年 40回 36人 ・エンジョイ吹き矢 通年 20回 9人 ・たのしいスポーツ教室(幼児の部) 通年 20回 11人 ・たのしいスポーツ教室(小学生の部) 通年 20回 31人 ・卓球教室 11月～1月 9人 ・朝のストレッチ・ヨガ教室 通年 40回 35人 ・らくらくエアロピクス教室 通年 40回 22人 <p>(5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館玄関壁面掲示によるスポーツ情報提供の整備に努めた。</p>
--

5、事業の評価

<p>河北スポーツクラブの育成に積極的に取り組み、地域における一層のスポーツ振興を図るとともに、クラブ活動を通して、健康で明るく活力に満ちたスポーツコミュニティづくりの推進に努めた。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	<p>地域のスポーツサービスは、行政から提供されるものという従来の意識は徐々に減ってきてはいるものの、総合型地域スポーツクラブの意義が未だ十分理解されていない現状にある。このようなことから、更なる会員の増加を図らなければ、会費収入等によるクラブの安定的な財源を確保することが困難になってくるものと予想される。今後も町民の要望に応えながら町の健康福祉課と事業調整を図り、重複しないような教室開催を実施していかなければならない。</p>				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	26 体育指導・教室事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町スポーツ推進委員の河北スポーツクラブへの育成、指導、助言及び青少年スポーツの育成

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	835	補正額等	26	合計	809	決算額	809
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

<p>(1) 町スポーツ推進委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画及び総合型地域スポーツクラブの育成、指導、助言に努めた。 また、平成 24 年 6 月 9 日(土)に第 50 回山形県スポーツ推進委員研究大会をサハトベに花を主会場に開催し、研究協議や実技研修を通して、研修と交流、親睦を深めながらスポーツ推進委員としての資質の向上を図り、スポーツのあるまちづくり、人づくり、地域づくりに寄与した。</p> <p>(2) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、正しいストレッチ講習会、指導者協議会、母集団研修会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。</p> <p>(3) 友好都市交流事業の一環として、本町の野球スポーツ少年団と藍住町及び石巻市野球スポーツ少年団との交流試合やべに花資料館見学、べに染体験、冷たい肉そばの試食等で互いの交流を図った。</p>

5、事業の評価

<p>(1) 町スポーツ推進委員の社会体育事業への積極的な参画、河北スポーツクラブへの育成、指導等によりスムーズな事業展開が図られた。</p> <p>(2) スポーツ少年団の育成事業については、少子化の影響で団員数が減少傾向にあるが、各単位団ともに指導者、母集団が一体となって、青少年の健全育成を図った。</p>
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	少子化の影響により、スポーツ少年団の団員数が年々減少傾向にあり廃団や統合する単位団も出てきている。今後も同じ種目を統合し単位団として再編し、団の活性化・強化を図るよう指導する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	27 各種大会開催事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進
教育振興計画	・生涯スポーツの推進

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,997	補正額等	31	合計	1,966	決算額	1,964
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 第 28 回へに花杯近隣市町ゲートボール大会を 20 チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。 開催期日 平成 24 年 7 月 11 日(水) 開催場所 荒町東公園</p> <p>(2) 第 4 回河北ミニサッカー大会 in 遊蔵 (U-10)を 6 チーム(河北町 3、山形市 1、東根市 2)の参加で開催した。 開催期日 平成 24 年 10 月 8 日(月)・10 月 21 日(日) 開催場所 河北町交流館遊蔵屋内運動場</p> <p>(3) 第 32 回河北町区対抗卓球大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりに寄与した。 開催期日 平成 25 年 2 月 24 日(日) 参加状況 15 区 24 チーム 208 人(前年度 15 区 25 チーム 213 人)</p> <p>(4) 第 17 回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。 開催期日・平成 24 年 6 月 30 日(日) 輪投げ大会 146 チーム(前年度 159 チーム) ・平成 24 年 9 月 30 日(日) ターゲットバードゴルフ大会 81 チーム(前年度 83 チーム) ・平成 24 年 12 月 2 日(日) ダーツ大会 162 チーム(前年度 156 チーム) ・平成 25 年 1 月 20 日(日) シャフルボード大会 128 チーム(前年度 110 チーム) 開催場所 河北町民体育館</p> <p>(5) 第 57 回山形県縦断駅伝競走大会で、寒河江西村山チームが 11 チーム中総合 5 位の成績であった。 開催期日 平成 24 年 4 月 27 日(金)から 29 日(日) 開催場所 県内一円</p> <p>(6) 第 29 回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが 11 チーム中 9 位の成績であった。 開催期日 平成 24 年 12 月 2 日(日) 開催場所 山形市周辺</p> <p>(7) 第 59 回西村山地区駅伝競走大会に本町より 2 チーム参加し、11 チーム中、A チームが 2 位、B チームが 8 位の成績であった。 開催期日 平成 24 年 11 月 11 日(日) 開催場所 西村山管内一円</p> <p>(8) 第 15 回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各 1 チーム参加し、35 チーム中、男子 21 位、女子 8 位の成績であった。 開催期日 平成 24 年 8 月 5 日(日) 開催場所 蔵王坊平クロスカントリーコース</p>	
---	--

5、事業の評価

<p>(1) 一町民スポーツの普及を図るため、河北町区対抗総合スポーツ交流大会を通して、生涯スポーツの人口拡大を図った。</p> <p>(2) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会の参加チームの増加等で、町民の健康づくりへの意識高まってきていると認識している。</p> <p>(3) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会も各地区に定着してきており、スポーツ推進委員の運営や参加チームからの相互審判制により、運営側と参加者側が一体となり事業を展開している。</p>	
---	--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	<p>拡充 継続 縮小 見直し 休廃止</p>
今後の対応	<p>(1) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会の実行委員会で、種目もマンネリ化しており、一種目程度を新たな種目に変えていく必要があるとの意見もある。実行委員会で検討したうえで、新たな種目を計画的に進めなければならない。</p> <p>(2) 山形県ジュニア駅伝競走大会の河北町選手団の選手選考については、大会が児童生徒の夏休み期間のため毎年ベストメンバーで編成できない事情があり、今後の課題である。</p>

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	28 べに花関係大会開催事業
-----	----------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
---------------------	-------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	0	合計	1,450	決算額	1,450
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)	県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第 25 回べに花杯卓球大会を開催した。 開催期日 平成 25 年 3 月 22 日(金)から 24 日(日) 開催場所 河北町民体育館 参加チーム ・小学男子 18 チーム ・小学女子 17 チーム ・中学男子 20 チーム ・中学女子 20 チーム ・高校女子 10 チーム
(2)	第 31 回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。 開催期日 平成 24 年 7 月 1 日(日) 開催場所 河北町民体育館周辺 参加者数 過去最高 860 人(前年度 771 人)

5、事業の評価

(1)	べに花にこだわった冠関係大会を充実させたことにより、河北町の活性化並びに県内外にこれまで以上に河北町を発信できたと評価している。
-----	--

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	(1) べに花マラソン大会は、べに花祭りの一環として開催している大会である。近年の参加者の増加に伴う受け入れ体制、特に駐車場の確保等を検討すべきである。また、これまでファミリーマラソンとしてべに花マラソン大会を行ってきたが、今後大会のあるべき姿をしっかりと確認し充実に努める。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	29 体育施設事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進と施設の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	64,681	補正額等	4,819	合計	69,500	決算額	69,498
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

- (1) サン・スポーツランド河北町民野球場カウント表示盤、水銀灯ランプ取換え及び野球場照明塔配線修繕を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (2) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。
 河北町民体育館 利用件数 994 件(前年度 1,052 件) 利用者数 56,684 人(前年度 49,511 人)
 サン・スポーツランド河北町民野球場 利用件数 115 件(前年度 103 件)利用者数 6,043 人(前年度 6,705 人)
 サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 498 件(前年度 482 件)
 利用者数 7,901 人(前年度 7,817 人)
 河北町野球場 利用件数 76 件(前年度 75 件) 利用者数 1,561 人(前年度 1,509 人)
 遊蔵屋内運動場 利用者数 6,949 人(前年度 7,583 人)
- (3) サン・スポーツランド河北町民野球場スコアボード設置工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
 河北町民体育館の屋根等修繕工事、サン・スポーツランド河北町民野球場門扉設置工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (4) 防犯監視カメラ更新工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (5) 河北町民体育館の蒸気ボイラーホットウェルタンク更新工事、サン・スポーツランド河北トイレ洋式化等工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (6) サン・スポーツランド河北町民野球場バックネット裏、通路舗装工事、河北町民体育館駐車場舗装補修工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (7) 河北町民体育館のデジタイマー式、バスケットゴール一対を購入し、利用促進に努めた。

5、事業の評価

体育施設の目的である競技スポーツ、生涯スポーツ等がより利用しやすく、また多くの人に親しんでいただける適正な維持管理体制が図られ、効率性が高くなっている。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	利用者との連携により、協働して管理体制を図っていく必要がある。また、施設の老朽化により、計画的な修繕、工事等が必要となってきたため、優先順位を決めて実施していく必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	30 町民プール事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
---------------------	-------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	町民の健康の保持増進
事業内容	利用者の安全確保と利用促進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	7,242	補正額等	627	合計	6,615	決算額	6,555
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

- (1) 河北町民プールの漏水、電話設備、濾過装置薬品洗浄、濾過装置洗浄配管、止水栓修繕を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (2) 河北町民プールの水質検査を専門機関に依頼し、安全管理と利用促進に努めた。
- (3) 河北町民プールの管理業務を専門業者に委託し、安全管理と利用促進に努めた。
開設期間 平成 24 年 7 月 10 日(火)から 8 月 20 日(月)までの 42 日間(委託期間 47 日間)
使用者数 4,331 人(前年度 4,354 人)
- (4) 河北町民プールの現況調査業務を委託し、調査結果を踏まえ、今後の河北町民プールの工事等の実施を検討した。
- (5) 河北町民プールの案内板 2 枚を更新し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (6) 河北町民プールの浄化装置保守点検(シーズン前、中、後)を専門業者に委託し、安全な水質管理に努めた。
- (7) 河北町民プールのプールクリーナー及び拡声器を更新し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。

5、事業の評価

町と専門業者等の連携及び各種修繕等をこれまで実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。しかし、町民プールの老朽化は否めず、新設の町民プールを財政計画に反映していくことが必要である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	河北町民プールは、全体的に老朽化しており、管理及び利用者の安全確保等が大変である。現況調査等の結果を踏まえ安全な管理運営を行っていく必要があり、今後は新設の町民プールを検討する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	31 スポーツ振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会、スポーツ少年団活動の支援 ・ 生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	3	スポーツ振興費

2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,580	補正額等	61	合計	4,641	決算額	4,423
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援	<p>町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 激励金支給者 小学生 2 人、中学生 32 人、高校生 20 人、成年 4 人 合計 58 人(前年度 69 人) ・ 垂れ幕掲示本数 世界的規模 2 本、全国的規模 18 本 合計 20 本(前年度 16 本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興	<p>河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。</p> <p>日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。</p>

5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金ともに有効活用している。特に河北中学校運動部活動の活躍は目覚しく、今後も競技スポーツ選手の育成・強化は不可欠である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	<p>拡充 継続 縮小 見直し 休廃止</p>
今後の対応	<p>(1) 垂れ幕掲示場所や方法は、これまでと同じで良いと思われる。補助的に、スポーツ施設のほか町の広報手段を利用するなど多彩な方法を検討する。</p> <p>(2) 河北町スポーツ選手育成強化事業、河北町生涯スポーツ振興事業とも、各事業の事務手続きが遅延する場合もあるので改善に向けた努力が必要である。</p>